

番 号	23請願第2号 (即 決)
受理年月日	平成23年6月7日
件 名	墓地造営計画反対について
提 出 者	調布市在住 安井 英二 ほか 5名
紹 介 議 員	岩田 康男
要 旨	
<p>〔趣旨〕</p> <p>江戸川区に所在の宗教法人勝曼寺が、三鷹市野崎四丁目176番1、同176番3及び同175番5に建造を計画している墓地（仮称）三鷹メモリアルグランデに関し、地域住民（調布市民）の総意として計画の中止、撤廃を請願いたします。</p> <p>〔理由〕</p> <p>1 地域住民の生活環境悪化が懸念されます。</p> <p>(1) 約2,000平方メートルの土地に計865基と多数の墳墓が計画されており、隣接住民宅地（6軒すべて調布市）とは最短で1.3メートルの手の届く位置まで、墳墓が配置されています。</p> <p>(2) 近隣住民には就学前後の児童が多く、夜間を含め治安上に問題があります。</p> <p>またひどいアレルギーを持つ幼児もいるため、線香による煙害も心配しています。</p> <p>(3) 地価の下落を招き、地域住民の財産権を侵すものです。</p> <p>(4) 近辺に事業用墓地が急激に増加しています。</p> <p>平成22年4月にメモリアルガーデン三鷹（三鷹市野崎二丁目）、現在建造中の調布深大寺霊園（調布市深大寺北町五丁目）と昔から所在の野崎共同墓地（三鷹市野崎西交差点）に加えると約400メートル以内に4カ所の墓地が集中しています。このまま、事業用墓地が認可され続けると、調布、三鷹市は墓地の町と化してしまうおそれがあります。</p> <p>2 申請者の経営の非営利性、公共性、公益性に疑問を感じます。</p> <p>(1) 隣接住民への説明会で、申請予定者からは再三にわたり、事業用墓地の目的は</p>	

寺院経営の利潤のためと説明しています。

厚生労働省の「墓地経営・管理の指針等について」で、墓地の経営には公共性、公益性と非営利性が強く求められており、これに反すると考えられます。

(2) 安定的に経営を行う財源に疑問を感じます。

上記のとおり寺院経営のために事業墓地を計画しており、事業計画書並びに資金計画については未提示ですが、その永続的経営には疑問があります。また、いわゆる名義貸しの懸念も残ります。

(3) 墓地の管理体制に疑問を感じます。

墓地経営、管理を行う組織、責任体制の具体的な説明はなく、取り組みは軟弱であると言わざるを得ません。

以上の理由により、地域住民といたしましては、今回の墓地造営は絶対に承服できません。

市議会におかれましても、本要望に御理解をいただき、計画の中止について、善処の方、よろしくお願い申し上げます。